

今から 30 年前、私が研修医の時の肝切除といえば、命がけの大手術であった。肝葉切除ともなれば毎回大量出血に備え、手術当日の早朝から患者の身内や友人を 20 人ほど集め、昼までかけて生血を採取するのがわれわれフレッシュマンの仕事であった。研修 2 年目、初めての出張病院では、アッペ、ヘモ、ヘルニアを沢山経験させていただき、次はマーゲン、コロノと意気込むのが駆け出し外科医の風物詩であった。しかし、肝切除となると当時の外科部長でさえ減多なことでは手が出せず、大腸癌の肝転移など発見しようものならば、患者家族を呼んで先が長くないことを伝えたものであった。

時は流れ、この分野の医療の内容は目覚ましく進歩した。切除不能大腸癌の化学療法では 5-FU/LV では 13 か月であった生存期間中央値が FOLFIRI/FOLFOX + 分子標的薬では 27 か月と 2 倍になった。ひょっとしたら外科医の仕事がなくなってしまうのでは…と心配になるが、まだ化学療法にそこまでの効力はない。むしろ強力な化学療法により conversion 症例が増加し、かえって肝切除が増えているように見える。一方、肝切除の技術や周術期管理の進歩も目を見張るものがあり、超音波吸引装置、ソフト凝固ジェネレーター、腹腔鏡などの器具の進歩とともに無輸血大肝切除も“普通のこと”になっている。ここまで肝切除が安定すれば、二期的肝切除や ALPPS などのアクロバット手術が提案されるのも頷ける。

増加の一途をたどる大腸癌症例の診療において、肝転移は主たる課題であり、これには大腸外科医ばかりでなく、肝臓外科医、化学療法医が深く関わる。化学療法も肝切除術も高度に発達した今、これらを駆使して肝転移と闘うことは、担当医にとって大変やり甲斐のあることである。しかし、それぞれの専門家が多く患者を抱え込み、自分の専門に固執した治療に走れば患者は不幸である。本特集では、大腸癌肝転移に対する最新の治療戦略を網羅した。部門や診療科を越えた協力関係をますます強固にするためにお役立ていただければ、幸いである。

(田邊 稔)

臨床外科 (第 71 巻 第 4 号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 社内案内 (03) 3817-5600

販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693 番

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5708

ファクシミリ (03) 3815-7802

E-mail: ringe@igaku-shoin.co.jp

担 当 鶴淵・川村・水野・安部

2016 年 4 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

(1 部) 定価: 本体 2,700 円 + 税

2016 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 送料弊社負担)			
冊子版/個人特別割引	36,720 円 + 税	冊子版/通常	39,840 円 + 税
冊子 + 電子版/個人特別割引	41,720 円 + 税	冊子 + 電子版/共有	44,840 円 + 税
電子版/個人特別割引	36,720 円 + 税	電子版/共有	39,840 円 + 税

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 日本医学広告社 電話 (03) 5226-2791

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan
- 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。
- 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
- *「臨床外科」は株式会社医学書院の登録商標です。